

## 令和7年度第2回学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和7年10月3日（金）午前10時00分から12時00分まで

2 会 場 浜松商業高等学校 応接室、体育館

3 出席者 （委員）佐原 司郎 氏、松山 佳典 氏、鈴木 和之 氏、渡瀬 吉朗 氏、  
倉本 哲男 氏、  
（学校）井口 裕史 校長、袴田 康行 副校長、米本 敦 教頭、  
後藤 一弘 事務長、

4 協議内容【発言要旨】＜ ＞は発言者

(1) 最近の本校状況 ＜井口校長＞

- ・ 学校案内表紙デザインを一新
- ・ 水泳部の活躍
- ・ 池町まつりで吹奏楽部が地域との交流
- ・ 中学生一日体験、オープンスクール、公立高校合同フェアに多くの中学生が来場

(2) 校内視察

浜商祭開会式を視察

5 委員からの意見等

各委員から感想、意見等を求め以下のとおり発言があった。

＜委員＞

- ・ テーマの「桜梅桃李」は、本来の「桃」の文字を「挑戦」の「挑」にもじったアイデアが生徒から出てきたということが素晴らしい。
- ・ 生徒主体で企画された全ての演目は自由で楽しいものであった。
- ・ 発表を聞く生徒の態度姿勢が素晴らしく感じた。

＜委員＞

- ・ これまで浜商のイメージは、集団で統制されているイメージであったが、今回の文化祭で「他人と自分を比べることなく、個性を磨こうという」という意味の「桜梅挑李」というテーマが掲げられ、浜商に「みんな違ってみんないい、個性を大切にしよう。」という新しい息吹を感じた。
- ・ 3年生の大合唱は、男女のハーモニーが美しく感動した。
- ・ 外語部の発表は、教員を巻き込んだ楽しい発表で、生徒と教員の良い関係がうかがえた。
- ・ 珠算部のフラッシュ暗算の実演には、いつもながら驚かされる。
- ・ いずれの発表も「動画制作」能力の高さに驚かされた。今の高校生は皆このような技能を生活の中で獲得しているのか、浜商生だから何か日頃の練習があつての成果なのか。

### <委員>

- ・ テーマ「桜梅桃李」のとおり、生徒たちが自由に伸び伸び活動できていて素晴らしいと感じた。
- ・ 3年生の合唱は素晴らしかった。一般公開してもよいと感じた。
- ・ 展示紹介のプレゼン動画は工夫されていて楽しい内容であった。
- ・ 生徒たちが自主的に運営している姿が素晴らしい。
- ・ まずは自分達が楽しむ姿勢はある。その上で、来場者をどう楽しませるかの工夫が見られた。生徒指導課教員から生徒たちに指導、アドバイスがあった「お客様を意識する。お金をいただく意味」等を考えた行動ができたなら、より素晴らしいものができると感じた。

### <委員>

- ・ 3年生の合唱発表は生徒の本気度が感じられた。
- ・ 外語部の動画は、インタビューが教員の英語力チャレンジ動画になっていて、アイデアが面白かった。
- ・ HR展、部展の動画では、今の高校生はこんなに高度な編集ができるのかと驚かされた。

### <委員>

- ・ 学校行事で着用する「クラスTシャツ」は、“スクールリーダーシップ（浜商 Pride：母校愛とも言える）の向上になっていいと感じた。
- ・ 生徒会長の態度が立派であった。どの分野に進んでも素晴らしい女性リーダーになれると思った。
- ・ 全活動（ポスター紹介も含め）が生徒の主体的活動であることに感銘を受けた。
- ・ 3年生の合唱は、統一感が素晴らしかった。また、1、2年生が真剣な表情で聞き入る姿もよかった。学校全体の生徒指導の効果と感じた。
- ・ 動画は、教員を巻き込んだ創意工夫がよかった。生徒と教員の良好な関係がうかがえた。
- ・ フラッシュ暗算の技能に驚嘆した。さすがは商業高校だと感じた。
- ・ 部展、HR展、商業展は各々テーマがあって、なるほどと感じさせる展示が多かった。
- ・ 開会にあたって、教員によるアントレプレナーシップ、金銭教育の視点の再確認も有効であった。
- ・ 生徒中心で自主的、主体的な教育のあるべき姿を見せてもらった。
- ・ 浜商における「外国にルーツを持つ生徒」の指導の在り方について知りたい。

## 6 閉会

すべての議題が終了し閉会となった。